

2026年6月26日

保険薬局 各位

大阪大学医学部附属病院
薬剤部長 奥田真弘

FAX 送信に関する運用変更について

平素より、大阪大学医学部附属病院を受診される患者さんの処方箋調剤・服薬指導等にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて当院では、FAX 誤送信による患者の個人情報漏えいの観点から、病院の方針として緊急を要しないFAX 送信の利用最小化を徹底することになりました。

つきましては、当部からの診療情報等のFAX 送信については、2026年7月13日以降、原則以下の方針で対応させていただきます。本取り組みを通じて情報セキュリティを確保し、情報漏えいを防ぐことができると考えますので、どうぞご理解の程よろしく願います。

なお、本運用変更については、貴薬局からのFAX 送信を制限するものではありませんが、誤送信のないように引き続きご協力よろしく願います。

記

運用変更日：2026年7月13日（月）

- 疑義照会票：即時性と処方内容の確実な伝達を要するため、FAX 返信を継続します
- 変更調剤報告書、トレーシングレポート（外来がん薬物治療情報提供書を含む）、吸入薬指導報告書等：
原則、受領のお知らせについては返信いたしません
即時返信が必要な場合のみ、FAX や電話連絡で返信いたします（場合によっては、郵送も活用させていただきます）
- 入院前服薬情報等提供書：受領報告書（匿名化したもの）をFAX 返信いたします

以上

※ 当院では、電子トレーシングレポートシステム（AAE-Report）を導入しています。電子化することで、FAX の誤送信や患者情報等の転記ミスなく迅速に情報連携できますので、是非活用をご検討ください。
<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-drug/pharm/medical/>



問合せ先：
大阪大学医学部附属病院 薬剤部
06-6879-5111（代表）